

003 永田正夫家文書と目録作成について

1 境沢区誌編纂委員会が、平成 19 年 4 月 29 日に、長老からの聞き取り調査を行った。その際、旧家に古文書の提供方について依頼した。その後、永田正夫氏から「若干の史料がある、よかったらどうぞ」との、史料提供の申し出があった。

2 境沢区誌編纂委員会では、5 月末に借用し、境沢区誌の協力者になっている青木廣安が、市誌編纂史料としての許諾をえて、コピーのうえ目録化した。

3 総点数は 103 点、一部、境沢区で既に借用し、ラベルが貼られているものがあった。そのため、これを活かしながら、とくに分類しないで目録化した。ラベルに「正」などが見えるのは、境沢区のラベルを活かしたためである。

4 主な史料を上げると、永田家の冠婚葬祭・出征帰還諸費控帳が幕末から昭和前期まで残っていて、賄いなどの推移がわかる。また、萬控えは明治 38 年から 40 年代まで記録されている。さらに永田家が明治 34 年度に境沢区長を勤めており、No. -8 は 50 枚ほどの簿冊で、豊丘村役場から区長への通知・連絡の綴りである。1 年間ではあるが、このころの行政の動きが年間通してわかる。

5 江戸期の史料として、市川出水の際の水防規定の請け書があり、町組からの応援分担が割り付けられている。寺子屋などでの手習い教本が若干見られた。

6 本目録化は、青木廣安が行なった。

平成 19 年 6 月 18 日 須坂市誌編さん室